

丸山台中ブロック

(ブロック校) 丸山台中学校、丸山台小学校、下野庭小学校

平成 24 年度より、横浜市立小・中学校では、全 142 ブロックで「横浜型小中一貫教育」が全面的にスタートしました。「横浜型小中一貫教育」とは、敷地や校舎を共有するなどの物理的な条件に関係なく、小中学校教職員が情報交換や連携をして、義務教育 9 年間の連続性を図った小中一貫カリキュラムに基づく教育活動を推進することです。このことによって、子どもの学力の向上や児童生徒指導上の課題の解消を目指します。丸山台中ブロックの小中一貫教育について、紹介します。

《丸山台中ブロック小中一貫教育における取り組み姿勢》

“取り組みを通し お互いをよく知る 小中をつなぐ 子どもを育てる”

ブロックで育てたい子ども像 (平成 22 年度～)

- いつでも元気よくあいさつできる子ども
- 一人ひとりを大切にできる子ども
- すすんで学習しようとする子ども

丸山台中ブロック小中一貫教育の、取り組みの一部を紹介します。

◆合同研修会

年に一度全職員で行う研修会です。毎年担当で打ち合わせを行い、その時の課題をテーマとして実施しています。昨年は「キャリア教育の研究」、今年はその成果をもとに同じテーマで内容を深めた話し合いを行いました。



◆合同ボランティア

小中の児童生徒が集まり地域の清掃活動を行っています。小中共通でエコキャップの回収やベトナムに不要になった靴を送る支援も行っています。



◆合同防災訓練

3.11 を受けて合同研修会の中から新たに企画された行事です。今後さまざまな自然災害などにも対応が考えられます。3 校で同時刻に避難訓練、児童生徒の引きとり訓練を行っています。今年で 3 回目となりました。保護者の方にも多くの参加をいただきました。

◆授業参観

年間 4 回の小中での授業参観の機会をつくり、お互いの授業を見合っています。参観後はコメントの交換を行い、互いの授業改善に役立つ資料としています。
※写真は SEPRO

